

第52回 県政世論調査報告書

令和3年8月実施



目次

はしがき

この冊子のみかた

I. 調査の概要

1. 調査の概要	1
2. 調査対象の特性	2
3. サンプル・デザイン	4
4. 調査地点一覧	5

II. 調査結果

1. 政策の満足度、県政への要望調査	10
(1) 政策の満足度〔概要〕	11
(2) 属性別にみる政策の満足度	17
(3) 県政への要望〔概要〕	27
(4) 属性別にみる県政への要望	30
2. 個別施策に係る調査	34
(1) ウェルビーイングについて	34
(2) カーボンニュートラルの推進について	39
(3) SDGsについて	49
(4) 働き方改革について	56
(5) 女性の活躍推進について	62
(6) リカレント教育への取組みについて	68
(7) 「新しい生活様式」の実践について	74
(8) 福祉施策の充実について	78
(9) 地産地消に関する意識について	84
(10) 食品ロスの削減について	88
(11) 犯罪の予防について	94
3. 意識調査	100

III. 調査結果の数表

121

IV. 使用した調査票

197

V. 過去の県政世論調査項目一覧

218

はしがき

この報告書は、令和3年8月に実施した「第52回富山県政世論調査」の結果をまとめたものです。

この調査は、県民の皆様が県政や日常の諸問題にどのような関心や期待をお持ちであるかを把握し、県政運営の基礎資料とするため、昭和45年度から毎年、実施しているものです。

今回の調査では、県の政策全般に関する満足度や要望のほか、ウェルビーイング、カーボンニュートラルの推進、働き方改革、女性の活躍推進、福祉施策の充実、地産地消に関する意識調査など、今日的な課題についても伺いました。今後、調査結果の分析を十分に行い、施策立案に役立ててまいります。

なお、この報告書のとりまとめに際しては、調査結果について項目ごとに主な特徴を解説しましたが、数表も掲載しておりますので、本書のご活用にあたり参考としていただければ幸いです。

令和4年2月

富山県知事政策局長

三 牧 純 一 郎

★ この冊子のみかた ★

1. 結果は百分比で表示した。その百分比は小数第2位を四捨五入した。したがって個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。
2. 図表中に「N」と記してあるのは、質問に対する回答者総数で、回答比率(%)が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
3. 図表中に「M. T. (Multiple Total)」と記してあるのは、1つの質問に対して2つ以上の回答(複数回答)を求めた場合の回答数の合計を回答者数(N)で割った比率であり、その値は100.0%を超える。
4. 図表中に「NA」と記してあるのは、回答しなかった人の百分比を示している。
5. 県民属性のうち、「F 4. 居住履歴」については、下記のとおり省略した表現を使用している。
 - ・「生まれてからずっと富山県に住んでいる」
→ 「県内生まれ(ずっと)」
 - ・「富山県で生まれて、県外に転出したが、再び転入してきた(県外生活5年未満)」
→ 「県内生まれ(県外生活5年未満)」
 - ・「富山県で生まれて、県外に転出したが、再び転入してきた(県外生活5年以上)」
→ 「県内生まれ(県外生活5年以上)」
 - ・「県外で生まれたが、富山県に転入してきた(県内生活5年未満)」
→ 「県外生まれ(県内生活5年未満)」
 - ・「県外で生まれたが、富山県に転入してきた(県内生活5年以上)」
→ 「県外生まれ(県内生活5年以上)」